

## とよひら未来21 元気対談

～とよひらの魅力アップ・元気アップを語る～

豊平区では、区の運営方針「豊平区元気ビジョン2004」に基づき、さまざまな取り組みを行ってきました。3月7日には、アドバイザーとして依頼した3人の委員と区長との「とよひら未来21元気対談」を開催。これまでの取り組みや、まちづくりについて意見交換しました。その概要をご紹介します。

チャンシヤンルー  
●張相律さん (有)北海道チャイナワーク代表取締役



・札幌ドームは海外からの観光客にも人気だが、周辺が寂しい。屋台村とか中華街があるとよい。  
・区内にある札幌留学生交流センターなどを使って、外国人ともっと交流できるようにしては？また、外国人にも分かるようなイベント情報を発信していくとよいと思う。大きなイベントではなく、地域の小さな規模でのイベントであれば本当の交流ができる。

よこやまひんし  
●横山憲治さん 北海道テレビ放送(HTB)取締役



・区には、ハード面では札幌ドーム、ソフト面では平岸天神などの文化活動があるが、いかに住民と行政と一緒に取り組んでいくかが大切ではないか。行政、住民、町内会、どんなどころからでもいいから、つながりが始まり広がっていくとよいと思う。  
・最近、役所と住民の関係も問われてきている。「住民自治」という言葉に象徴されるように、自分たちのことは自分たちでやるという「自律」が大切になってきているのではないかと。



よしだきよこ  
●吉田聡子さん (株)桐光クリエイティブ代表取締役

・陵陽中学校生徒と区職員との、まちづくりに関するワークショップの開催は大変よいことだと思う。自分と異なる立場の人の意見を聞くことにより、隠れた宝石のようなアイデアが出てくるかもしれない。  
・地元の小さな店のおいしいものをブランド化するとよいのでは？ちょっとした新しい視点に立って、住民と行政が一緒に地域ブランドを見つけていってほしい。



おだきりひさぶ  
●小田桐久信 豊平区長

・商店街活性化のために、空き店舗の活用や屋台村といった取り組みを検討したい。札幌ドーム周辺に、屋台村などができると区の顔になる。  
・17年度は「クリーン&グリーントウンとよひら」を推進していくとともに、「とよひら元気大作戦月間」や「とよひらの日」の取り組みを区民運動として展開していきたい。区民の皆さんに取り組みの成果を実感してもらえよう、さらにパワーアップしていく。



### 第9回「札幌ドームに応援に行こう！」

2005年シーズンがいよいよ開幕。今年もこのコーナーでは、区民の皆さんと一緒にファイターズを応援していきます。今回は、今シーズン札幌ドームで試合観戦する際の新たな見どころをご紹介します。



観客席にB・B登場！

もっと知りたい!



- **アップシート**  
昨年までS席またはA席だった内野席の上部が「アップシート」になり、昨年より安い料金で観戦できます。手ごろな料金で、さまざまな角度から試合を観戦する楽しみが増えました。
- **開場時間**  
デーゲーム開催時の開場時間が、試合開始の2時間30分前になりました。昨年より45分早いので、ファイターズ選手の打撃練習などをじっくり見ることもできます。外野スタンドにもどんどん打球が飛び込んできますので注意しましょう。
- **新しい人工芝**  
シーズン前に札幌ドームの人工芝を新しいものに替えました。新しい芝は、毛足が長くて柔らかく、膝などに負担がかかりにくいということで、選手に好評です。また、打球のバウンドの仕方も去年とは違うので、選手のグラブさばきにも注目です。
- **低反発ボール**  
ファイターズが今季使用するボールは、昨年使用していたものよりも打球の飛距離が短くなります。昨年末まではホームランだったような当たりを、新庄選手がフェンス際で見ました。
- **セリーグとの交流戦**  
プロ野球史上初めて、セ・パ両リーグの交流戦が行われます。札幌ドームでは、ファイターズとセ・リーグ全チームの対戦を観戦することができ、セ・リーグの好投手とファイターズの強力打線との対決が楽しみです。
- **札幌ドームでプレーオフ**  
さらに日本シリーズシーズン終了時にファイターズがパ・リーグの2位以内に入ると、札幌ドームでプレーオフが行われます。さらに、プレーオフで勝ち抜き、パ・リーグ優勝を達成すると、次は日本シリーズです。札幌ドームでの日本シリーズ実現に向けて、ファイターズを応援しましょう。
- ◆ ◆ ◆  
このコーナーでは、ファイターズを楽しく応援している区民の皆さんを募集し、紹介いたします。応募の方法などは本誌区版4ページをご覧ください。

